

令和元年度 林業試験場研究課題一覧

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
(1) 地域の特性に応じた森林づくり及びみどり環境の充実	ア 豊かな道民生活のための森林機能の高度発揮	① 森林の公益的機能の発揮のための研究開発	林内機械作業による土壌・植生への攪乱とその持続性の解明(主管:森林総研)	H28~R1	育種育苗 G	3
			量的・質的研究アプローチによる知的障がい者のための森林教育活動に関する研究	H28~R1	道南支場	5
			津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開(主管:北総研)	H29~R1	専門研究主幹	7
			常呂川流域圏における人間活動と水・物質循環とのつながりの解明(主管:環科研)	H29~R1	環境 G	9
			乙部町における新規蜂場開設を目指した蜜源探索に関する研究	H29~R1	道南支場	11
			十勝地域における効果的な内陸防風林更新手法の提案	H29~R1	道東支場	13
			防雪林に対する除伐・枝打ちが吹雪捕捉機能に及ぼす影響	H29~R1	道東支場	15
			カラマツ・トドマツ人工林における風倒害リスク管理技術の構築	H30~R2	環境 G	17
			流域サイズの違いと地下水の寄与を考慮した窒素流出負荷評価方法の検討	H30~R2	環境 G	19
			河川横断工作物の改良による森里川海のつながり再生の影響把握(主管:環科研)	H30~R2	環境 G	20
			温暖化に対する河川生態系の頑強性評価:微気象と連結性を考慮した適応策の構築	H30~R3	環境 G	21
			森林の循環利用を学ぶためのカードゲーム開発(主管:林産試)	H30~R1	道南支場	22
			風由来の環境ストレスの実態解明に基づく海岸林の地形・林冠の動態モデルの開発(主管:森林総研)	H30~R2	道東支場	24
			海岸防災林の津波減災機能向上のための生物・物理モデルの開発と森林管理手法の評価	R1~R3	森林環境部	25
			治山ダム設置前後の地形・植生変化の効率的な把握手法の検討	R1~R3	環境 G	26
			海岸流木処理対策の効率化・迅速化のための漂着量把握技術の開発(主管:環科研)	R1~R3	環境 G	27
			北海道胆振東部地震による崩壊斜面における植生回復手法の開発	R1~R4	環境 G	28
			流木災害防止・被害軽減技術の開発(主管:森林総研)	R1~R5	環境 G	29
			2018年胆振東部地震により発生した大規模山地災害のメカニズムと復旧方法の解明(主管:石川県立大学)	R1~R5	環境 G	30
			気候変動に伴う河川生態系のリスク評価:統計モデルとメソコスム実験の融合(主管:北海道大学)	R1~R5	環境 G	31
		実験林等で先端的な研究を実施するための情報収集と試行	R1	企画調整部	32	
		② 生物多様性に配慮した豊かな森林を保全・維持するための研究開発	獣害防止ネットにおける耐積雪性に関する研究	H27~R1	保護 G	33
			森林被害評価にもとづく日本型シカ管理体制構築に関する研究	H28~R1	道北支場	34
			カラマツヤツバキクイムシ被害拡大抑制技術の開発	H29~R1	保護 G	35
			カラマツヤツバキクイムシ大発生と被害拡大の要因解析による防除技術の提案	H29~R1	保護 G	36
			小島の渡りルートの解明は東南アジアの環境保全への支払意志額増加につながるか?(主管:森林総研)	H29~R2	保護 G	38
			牧草被害低減と利活用率向上に向けたエゾシカ捕獲技術の確立(主管:環科研)	H30~R2	保護 G	39
			保残伐の大規模実験による自然共生型森林管理技術の開発(主管:森林総研)	H30~R4	保護 G	40
			森林病虫害への網羅的な遺伝子発現解析の活用	R1	保護 G	41

イ	生活環境の向上のためのみどり資源の活用	③身近なみどり資源の活用のための研究開発	道北地域の森林におけるエゾシカ生息実態把握技術の開発	R1~R3	道北支場	42
			北海道ブランドとなる“たらの芽”生産用タラノキの選抜とクローン増殖技術の開発（「農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築」（主管：中央農試））	H27~R1	樹木利用 G	43
			少花粉シラカンバのブランド化に向けた特性調査	H28~R1	環境 G	45
			本道に自生するツルコケモモの栽培化に向けた遺伝資源の収集とクローン増殖技術の開発	H29~R3	樹木利用 G	46
			街路樹の維持管理作業の適期と点検・診断時期の提示	H30~R2	樹木利用 G	47

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
(2) 林業の健全な発展と森林資源の循環利用の推進	ア 森林資源の充実と持続的な森林経営による林業の振興	④資源管理の高度化のための研究開発	天然生林における単木・林分レベルの成長予測技術の高度化	H28~R1	経営 G	48
			UAV を用いた天然更新木の判読技術の開発	H29~R1	道北支場	49
			高精細森林情報を用いた針葉樹人工林の地位指数推定技術の高度化	H30~R2	経営 G	50
			UAV を活用した低コスト森林調査手法の研究	H30~R2	道北支場	51
			合板用カンバ材の供給・利用可能性の評価にかかる実証試験	R1~R2	経営 G	52
			多時期の衛星画像を利用した針葉樹人工林の抽出技術の開発	R1~R3	経営 G	53
			多年生台木由来のクリーンラーチ挿し木苗の評価に関する研究（非公開）	R1~R3	育種育苗 G	—
		⑤林業経営の持続的な発展のための研究開発	クリーンラーチ若齢採種圃の成長と着花に及ぼす施肥の効果検証	H28~R2	育種育苗 G	54
			気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス（主管：東京大学）	H28~R1	育種育苗 G	55
			森林経営の効率化のための崩壊リスクを考慮した路網管理手法の提示	H28~R1	道南支場	56
			グイマツ雑種 F <sub>1</sub> の挿し木幼苗増殖技術の研究（非公開）	H29~R1	保護種苗部	—
			成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発（主管：森林総研）	H30~R4	経営 G	58
			カラマツ類優良品種の効率的な選抜のための技術開発	H30~R4	育種育苗 G	59
			木材需給の変動要因分析と需給変動への対応策に関する研究（主管：林産試）	H30~R2	道南支場	60
			造林作業の省力化に向けたコンテナ苗植栽のための穴掘り機構および無線誘導技術に係る実証試験	R1	経営 G	61
			コンテナ苗植栽機械化のための植栽機構および作業システムの検討（主管：林産試）	R1~R3	経営 G	63
			木質バイオマスの利用拡大技術の開発（「地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装」（主管：工試））	R1~R5	経営 G	64
			ゲノム情報を利用したグイマツ雑種 F <sub>1</sub> の材強度に関する判定技術の開発（非公開）	R1~R3	育種育苗 G	—
			クリーンラーチ挿し木苗の得苗率を向上させる育苗管理技術の開発	R1~R4	育種育苗 G	65

\* 太字は R1 年度から始まった新規課題